

国立駅周辺 整備事業 の現在 (2021.06 改訂版)



令和3 (2021) 年6月
国立市

はじめに

国立市は、J R中央線連続立体交差事業に伴う国立駅南北の一体化を、人を中心にした個性あるまちづくりを行う好機と捉え、平成 21 (2009) 年 11 月に「国立駅周辺まちづくり基本計画」(以下、基本計画) を策定いたしました。

基本計画策定後、市民参加の国立駅周辺まちづくり会議を設け、駅前広場のあり方などを検討し、基本計画に記された事業の実現に向けた、関係者、関係機関との協議などの取り組みを進めてまいりました。

その結果、旧国立駅舎再築事業等の公共施設整備事業に関しては、平成 27 (2015) 年 4 月に都市再生整備計画に基づく社会資本整備総合交付金対象事業として国に採択され、令和元 (2019) 年度までに補助事業である旧国立駅舎再築事業、国立駅南第 1 自転車駐車場整備事業、高架下市民利用施設整備事業を完了しました。また、国立駅周辺の道路整備事業に関しては、東京都の市町村土木補助等の支援を受け整備を行っています。

新型コロナウイルスの感染拡大により東京都に 1 回目の緊急事態宣言が発出される直前の令和 2 (2020) 年 4 月 6 日に、くにたちのシンボルのひとつである旧国立駅舎がオープンしました。市の情報発信や観光案内とともに三密対策を講じた上で様々なイベントが開催されています。旧国立駅舎は市内外の方に愛され、令和 2 (2021) 年度は延べ 37 万人を超える方にご来場いただきました。

国立駅南口周辺においては、市の国立駅南口複合公共施設用地と J R東日本の旧国立駅舎周辺の用地を交換することを令和 3 (2021) 年 3 月に合意しました。市は、取得する用地を歩行者空間の創出等のために広場の整備を検討しているところです。

また、令和 3 (2021) 年 3 月 27 日に国立駅の南北をつなぐ道路となる都市計画道路 3・4・10 号線及び西第 1 条線延伸部 (北向き一方通行) が完成・開通したことで国立駅周辺の交通体系が整理され、国立駅南口ロータリーを経由しなくても中央線高架の南北通行が可能になるなど交通の利便性が向上しました。

さらに今年度以降は、北 1 号線及び東 1 号線において歩道を拡幅し無電柱化を実施するなど、歩行者が歩きやすく回遊しやすい国立駅周辺とすることを目指して工事を進めてまいります。

本冊子は、基本計画策定からの経緯を振り返り、国立駅周辺整備事業が現在どのような計画となっているのか、どのように整備されるのかをお伝えする冊子です。広く市民の皆様にご確認いただけると幸いです。

国立駅周辺整備事業は、多くの市民、議会、関係機関、関係事業者の皆様のご理解、ご協力により進められているものです。改めて感謝を申し上げるとともに、引き続きご理解、ご協力をたまわりますようお願いいたします。

これからも多くの人に愛され、住みたいまち、住み続けたいまちとして発展を続けていくよう、まちづくりを行ってまいります。

令和 3 (2021) 年 6 月 国立市

1. これまでの経緯

(1) 国立駅周辺まちづくり基本計画

- ・国立駅周辺地域は、国立市の上位計画で、国立市の玄関口として重要な地域として位置付けられています。国立駅周辺のまちづくりを進めていくにあたっての基本的な方向性を示す「国立駅周辺まちづくり基本計画」を平成 21（2009）年 11 月に策定しました。
- ・基本計画ではまちづくりの理念を
—まちと人がつながる、緑と文化のくにたち広場—
とし、以下の 5 つをまちづくりの目標として定めています。
 - ①市民が集い、来訪者を迎え、にぎわいと交流のあるまちづくり
 - ②人にやさしい、安全で安心な環境作りや環境負荷低減のまちづくり
 - ③駅周辺の景観とシンボルをいかしたまちづくり
 - ④個性的なまちなみを生かした回遊性のあるまちづくり
 - ⑤出会いと発見、文化を発信するまちづくり
- ・この計画に基づき、以降、事業内容の検討、決定を行ってまいりました。

(2) 国立駅周辺まちづくり会議

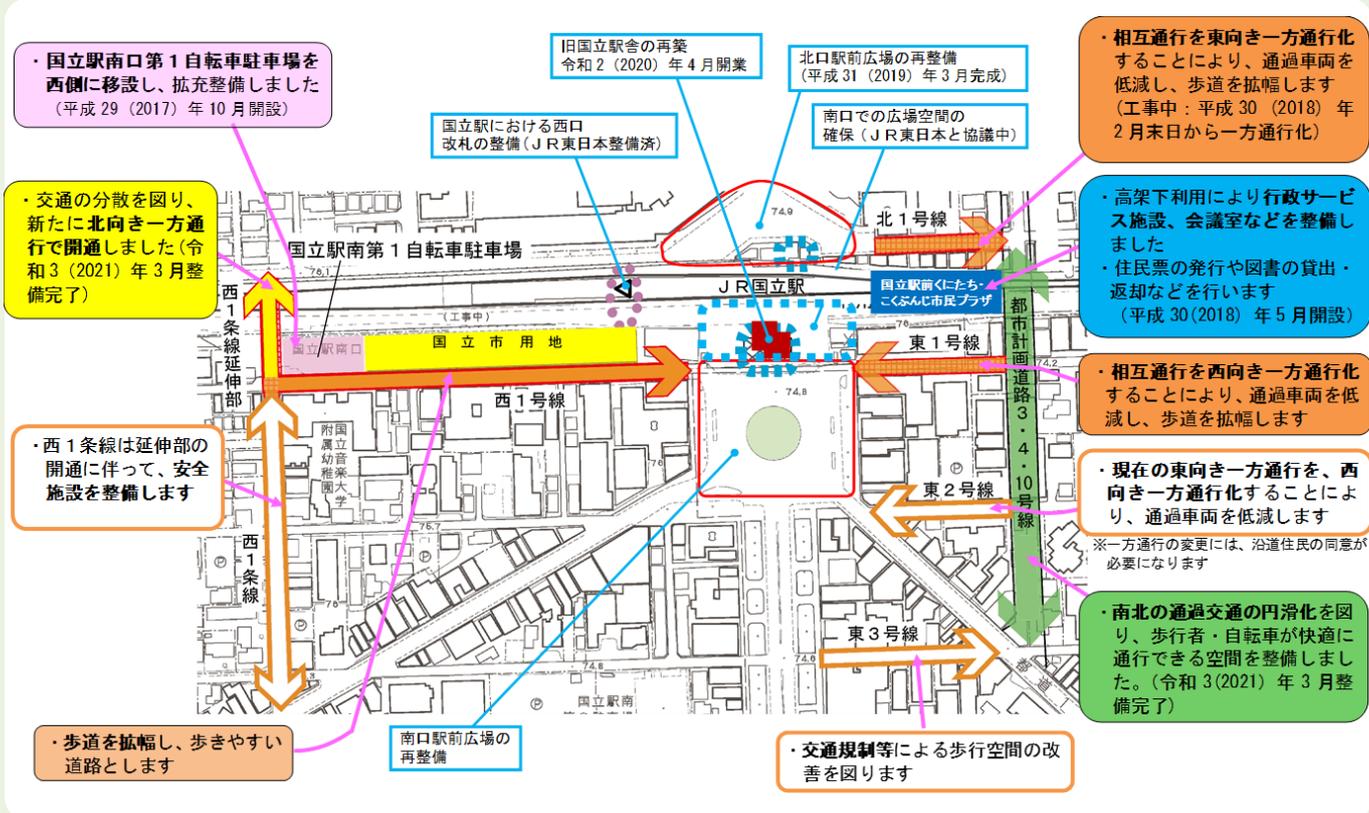
- ・国立駅周辺の整備事業を推進するために、多岐にわたる事業を一貫してコーディネートしていくことを目的に、市民や学識経験者、関係機関等が一堂に会して事業を検討できる組織として、国立駅周辺まちづくり会議（以下、まちづくり会議）を設置し、関係機関との協議に向けた条件整理等の検討を行いました（公募市民 4 名を含む 12 名の委員）。
- ・まちづくり会議は、平成 22（2010）年 8 月から平成 25（2013）年 9 月まで開催され、国立駅南北駅前広場の整備方針、国立駅周辺の交通計画、旧国立駅舎再築を含めた国立駅周辺の景観のあり方、国立市が利用可能な高架下部分の活用方法等を検討しました。
- ・それを受けて、以後の関係機関との協議、事業展開に向けた補助金申請等、事業の具体化については市に委ねられることになりました。

(3) 個別事業の具体化の検討、決定

- ・国立駅周辺の交通計画は、交通管理者との協議を段階を分けて行い、平成 27（2015）年 4 月に北口駅前広場、北 1 号線、西 1 号線、西 1 条線（延伸部含む）の協議を終了し、平成 28（2016）年 1 月に南口駅前広場、東 1 号線の協議を終了しました。
- ・北口駅前広場整備事業は、平成 31（2019）年 3 月に完了しました。
- ・都市計画道路 3・4・10 号線整備事業は、平成 30（2018）年度に電線共同溝設置工事等、令和 2（2020）年度に道路築造工事を行い、令和 3（2021）年 3 月に開通しました。
- ・旧国立駅舎再築事業は、J R 東日本のご協力のもと平成 29（2017）年 2 月に用地売買契約を締結し、平成 30（2018）年 6 月に工事着手し、令和 2（2020）年 4 月に施設を開設しました。
- ・高架下市民利用施設整備事業は、広域連携の観点から、共同で施設を設置するための国分寺市との協議、平成 29（2017）年度の整備工事を経て、平成 30（2018）年 5 月に施設を開設しました。
- ・南口複合公共施設整備事業は、平成 27（2015）年に「国立駅南口複合公共施設整備基本計画（素案）」の策定、パブリックコメント等を行い、平成 28（2016）年に「国立駅南口複合公共施設整備基本計画」をまとめ、平成 29（2017）年に事業者ヒアリング等を行いました。

2. 国立駅周辺整備における各事業の整備内容

(1) 国立駅周辺道路整備事業



▲各路線の整備内容

【整備の考え方】

- ・国立駅周辺を歩きやすい空間とするため、道路の一方通行化を行い、歩道を拡幅します。
- ・また、国立駅周辺の交通体系を変更することで国立駅前の通過交通を低減します。
- ・都市計画道路3・4・10号線、北1号線、東1号線については、電線共同溝を整備し、電線を地中化することで、良好な道路環境とします。
- ・これまでに国立駅周辺まちづくり会議で議論し、交通管理者と協議してきた広場計画等の内容を踏まえ、国立駅周辺全体の交通規制のあり方について、整備に向けた協議を行います。
- ・これまでの関係機関等との協議を踏まえた整備の予定は、以下のとおりです。

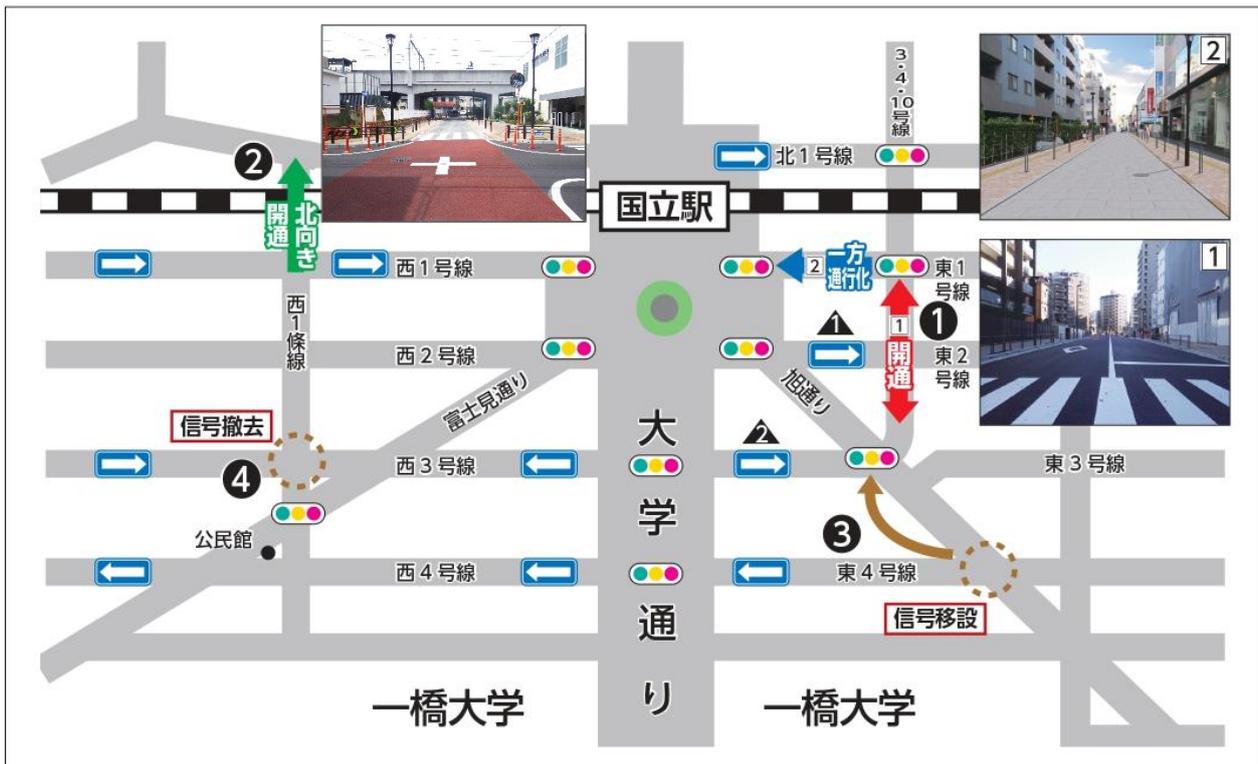
○整備実施路線：3・4・10号線、北1号線、東1号線、西1号線、西1条線延伸部

○整備検討路線：東2号線、東3号線

※整備検討路線については、路線断面の大幅な変更がないため、道路の損傷状況や財源を見据えて、今後、整備手法の検討を行います。

【交通体系の変更】

令和3（2021）年3月27日に国立駅周辺の交通体系が変わりました。



※図中の▲と▲の交通規制については、今後の沿線住民や交通管理者との協議により変更となる場合があります。

① 3・4・10 号線開通

都市計画道路3・4・10号線（赤矢印）が開通したことにより、国立駅南北交通の主要動線ができ、旭通りと国立駅北側の行き来がしやすくなりました。それに伴い、東1号線（青矢印）は西向きの一方通行となりました。

② 西1条線延伸

西1条線延伸部（緑矢印）が開通したことにより、南口駅前広場を経由せずに国立駅北側に行けるようになりました。これにより交通が分散され、南口駅前広場の交通量も低減します。

③ 信号機の移設

都市計画道路3・4・10号線と旭通りの交差点は、周辺の交差点よりも交通量があることから、東4号線と旭通りの交差点の信号を移設しました。

④ 信号機の撤去

西1条線と西3号線の交差点は、富士見通り側の交差点と近接しすぎているため、令和3（2021）年2月5日に信号が撤去され、南北優先の道路となりました。

【整備スケジュール（予定）】

- ・北1号線 : 令和元（2019）年度 ～ 令和3（2021）年度
- ・西1号線 : 令和4（2022）年度 ～ 令和6（2024）年度
- ・東1号線 : 令和3（2021）年度 ～ 令和7（2025）年度
- ・東2号線 : 未定（道路の損傷状況等を勘案し着手時期を決定します。）
- ・東3号線 : 未定（道路の損傷状況等を勘案し着手時期を決定します。）
- ・都市計画道路3・4・10号線（北） : 未定（経済動向を勘案し着手時期を決定します。）



▲整備後の北1号線（北口駅前商店街沿い）のイメージ

（2）国立駅南北駅前広場整備事業

①北口駅前広場整備事業



▲整備後の北口駅前広場

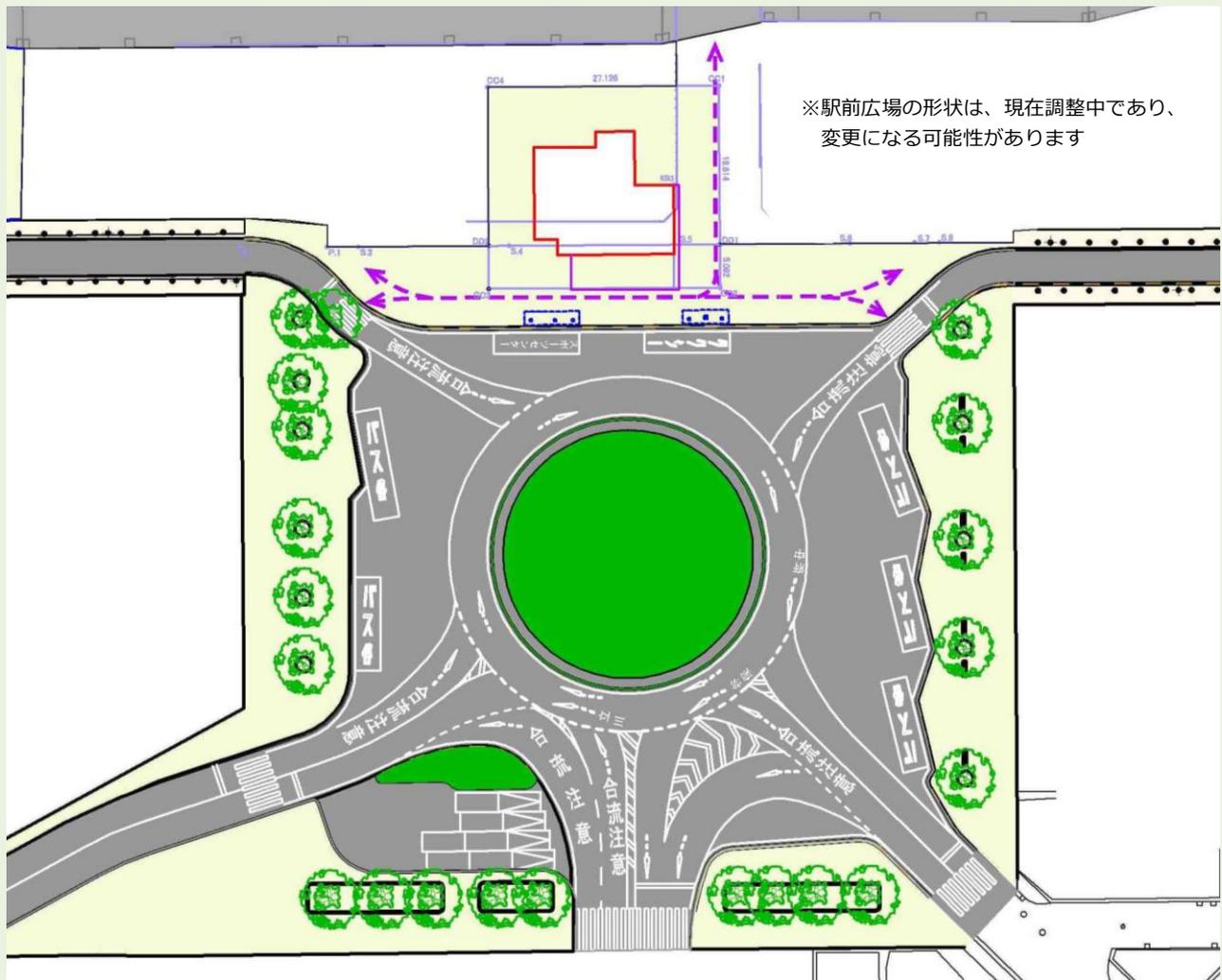
【整備の考え方】

- ・北口駅前広場は自動車動線を整理し、歩行者の横断距離を低減することで安全性の向上を図りました。
- ・ラチ外コンコース（通称、南北通路）前に環境空間となる広場を整備して、「北口駅前広場—旧駅舎—南口駅前広場の一体化」を図りました。
- ・北1号線の歩道拡幅やJR東日本の整備による歩行空間「ののみち」と併せて、国立駅周辺の回遊性が高まります。
- ・駅側のバス停にもシェルターを整備することで、雨天時等のバス待ちがしやすくなりました。
- ・駅北西側からの利用においては、nonowa 口改札を利用するとより利便性が高く、かつ安全です。

【整備スケジュール】

- ・平成31（2019）年3月完成

②南口駅前広場整備事業



【整備の考え方】

- 南口駅前広場はロータリー形状を維持したまま、歩行者空間を拡大します。また、交通動線を整理して安全性を高め、バリアフリー対応とします。
- 円形公園の活用については、イベント時等、非日常的に市民が立ち入り可能となるように検討、協議を行います。
- バス停は車いす等でも乗降可能なように、ロータリーの外周に設けることとします。
- これに伴い、乗降のバス停が同じ位置となります。

【整備スケジュール（予定）】

- 工事 : 令和6(2024)年度 ~ 令和8(2026)年度

(3) 国立駅周辺公共施設整備事業

①各施設の整備コンセプト



- ・国立駅周辺には、旧国立駅舎、南口複合公共施設、高架下市民利用施設を整備し、国立駅周辺だけにとどまらず、国立市全体の魅力を高めます。
- ・上図のとおりエリア別に各施設のコンセプトを設定し、機能を配分して整備します。

②旧国立駅舎再築事業



【整備の考え方】

○旧国立駅舎の配置と景観

- ・旧国立駅舎再築用地の周辺は、都市計画マスタープランで都市拠点として位置付けられています。また、国立市景観づくり基本計画に基づく都市景観形成重点地区候補地に位置付けられています。
- ・旧国立駅舎は大正 15（1926）年の創建当時の姿に文化財として再築しました。

○旧国立駅舎の再築用地について

- ・再築用地は約 648 ㎡の土地です。そのうち、約 138 ㎡はもともと市が所有していた土地で、残り約 510 ㎡は、J R 東日本のご協力により、平成 29（2017）年 2 月に取得した土地です。
- ・再築位置は、駅周辺の歩行者動線の検討や J R 東日本との協議の結果、元の位置から西方向に約 3m、南方向に約 5m 移動した位置とし、駅利用者の歩行者動線を障害しない場所としています。

【整備スケジュール】

- ・令和 2（2020）年 4 月 6 日オープン

【旧国立駅舎の活用について】

- ・くにたちの魅力を発信する拠点として活用します。
- ・イベント等の開催場所として、旧国立駅舎の利用を希望する方からの企画提案も適宜お受けします。
- ・活用方法や管理運営に関して意見交換を行う外部組織「旧国立駅舎運営連絡会」を設置しました。

■ 施設概要

所在地 国立市東 1-1-69

閉館日 年末年始（12月29日～1月3日）

開館時間	
平日	【広間】 午前7時～午後10時 【まち案内所・展示室】 午前10時～午後7時
土曜 日曜 祝日	【広間】 午前9時～午後10時 【まち案内所・展示室】 午前9時～午後7時



まちの魅力発信拠点

旧国立駅舎のウェブサイトはこちら ▶▶▶

https://www.city.kunitachi.tokyo.jp/kyukunitachiekisha_specialsite/



■ 運営状況（令和2年度実績）

- (1) 延べ来館者数 378,456人 ※1日あたり平均1,270人(令和2年度開館日数：298日)
- (2) イベント数 35件
※利用率 70%(広間、展示室、屋外スペースのいずれかが利活用された日数の稼働率)

(3) まち案内所(業務委託)

物販売上

年間取扱商品数 94点

年間売上高 5,066,447円

窓口案内(主な内容)

まちの見どころ案内 943件

物販商品に関する質問 367件

交通案内 216件

(4) 情報発信事業

チラシ配架 152件

デジタルサイネージ 151件

Twitter ツイート数 649件

(5) プレイピアノ

利用可能時間帯 12:00-13:00 17:30-18:30

※利用率 77%(利用率は予約済み件数を総予約枠で除したもの)

※令和2(2020)年12月20日から運用開始



▲まち案内所



▲広間

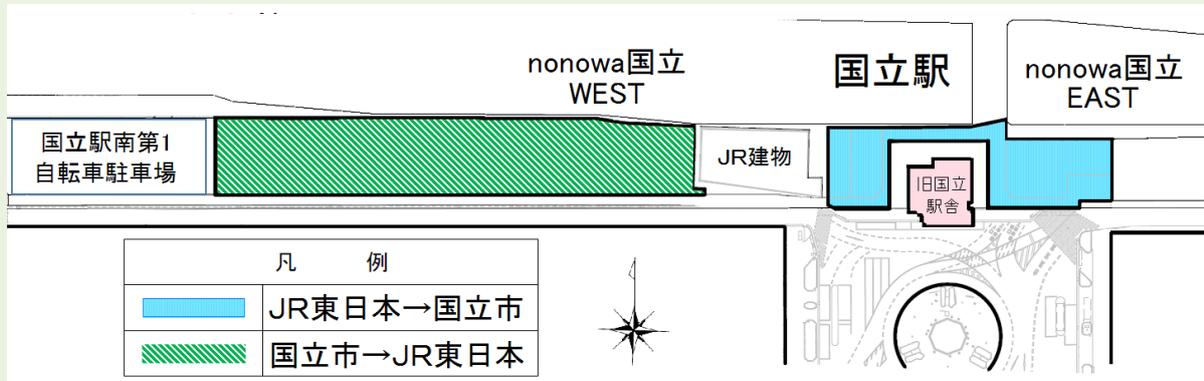


▲広間に設置したピアノ

③(仮称)旧国立駅舎東西広場および円形公園の整備

【国立駅南口における用地交換について】

- ・平成 29 (2017) 年に、J R 東日本が国立駅南口に商業ビル 2 棟を建設する計画の報道がありました。この計画に対して、市民やまちづくり推進団体から再考を望む声が上がります。市議会でも審議されました。
- ・市と J R 東日本は、国立駅周辺のまちづくりに資する国立駅南口の開発の考え方について協議を重ねた結果、下図のように用地交換することを、令和 3 (2021) 年 3 月に合意しました。



▲土地交換図

○交換後の土地利用の方針

- * 市は、取得用地を歩行者空間の創出等のための広場空間として利活用します。
- * JR 東日本または JR 東日本の関連会社は、取得用地について、隣接する所有地と合わせて建物高さ 31m 以下の商業施設棟および賃貸住宅棟を計画します。
- * 市は、子育て支援の公共機能を整備するために、賃貸住宅棟内の約 700 m²を賃借します。
- * 商業施設棟敷地内に、国立駅 nonowa 口改札に通じる連絡通路を新たに整備します(現在の西連絡通路と東連絡通路は廃止します)。

【(仮称)旧国立駅舎東西広場および円形公園】

- ・用地交換により取得する旧国立駅舎東西の用地を活用して(仮称)旧国立駅舎東西広場を整備します。再築した旧国立駅舎との調和および国立の玄関口として景観に配慮し、市民が集い来訪者を迎え、にぎわいのある駅前とするためのデザインや機能を検討していきます。
- ・南口ロータリーや旧国立駅舎東西広場の整備と連動して、円形公園の再整備についても併せて検討を行います。
- ・また、デザインコンペなどを実施することも考えており、できる限り多くの市民の皆さまの声を聴きながら事業を進めます。



▲旧国立駅舎東西広場用地と円形公園



▲旧国立駅舎東西広場用地 (東側)

※ 写真はどちらも令和 3 (2021) 年 4 月に広場用地を一時的に開放したときの様子

④南口複合公共施設整備

【整備の考え方】

- ・平成 29（2017）年 2 月に「国立駅南口複合公共施設整備基本計画」をまとめました。
- ・国立駅南口複合公共施設用地は、用地交換により J R 東日本が利活用することになります。J R 東日本が計画している賃貸住宅棟内の約 700 ㎡を、市は賃借して子育て支援等の公共機能を整備します。

○検討している子育て支援機能の例

子育てひろば、絵本の部屋、一時保育室、自習室、たまり場交流スペース

- ・今後、「国立駅南口複合公共施設整備基本計画」の考え方の一部を継承した「国立駅南口子育て支援施設整備方針」を策定していく予定です。

【整備スケジュール（予定）】

- ・未定

⑤国立駅前くにたち・こくぶんじ市民プラザ（高架下市民利用施設）整備

【整備の考え方】

- ・「国立駅前くにたち・こくぶんじ市民プラザ」は、「市民生活」をコンセプトとして、国立駅の東側高架下（nonowa 国立 EAST の東側）に整備された施設です。
- ・平成 28（2016）年 4 月に国分寺市と「国立駅東側高架下市民利用施設等の整備・利用事業に関する基本協定書」を締結し、広域連携のひとつのモデルとして、国分寺市と共同で整備しました。
- ・各種証明書の発行や予約図書の引き渡しなどを行う市民サービスコーナー、くにたち男女平等参画ステーション（愛称「パラソル」）、オープンスペース等の機能を有しています。
- ・オープンスペースは、市民交流イベント等を行うことができます。

【整備スケジュール】

- ・平成 30（2018）年 5 月 14 日オープン

■施設概要

所在地 国立市北 1-14-1

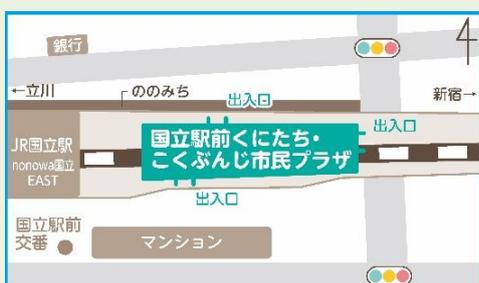
開館時間 平日：午前 8 時 30 分～午後 10 時
土・日曜・祝日：午前 9 時～午後 10 時
閉館日 年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）

■市民サービスコーナー

利用時間 平日：午前 8 時 30 分～午後 7 時
休館日 土・日曜・祝日

■くにたち男女平等参画ステーション（愛称「パラソル」）

開館時間 平日：午前 10 時～午後 7 時
土・日曜・祝日：午前 9 時～午後 5 時
休館日 年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）



▲市民サービスコーナー



▲オープンスペース



▲くにたち男女平等参画ステーション(パラソル)

3. 事業スケジュール（予定）

事業	年 度										
	平成29	平成30	令和元	令和2	令和3	令和4	令和5	令和6	令和7	令和8	
	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	
西第1号線整備											
西第1条線延伸部整備											
北第1号線整備											
東第1号線整備											
東第2号線整備	道路の損傷状況等を勘案し着手時期を決定します。										
東第3号線整備	道路の損傷状況等を勘案し着手時期を決定します。										
3.4.10号線(南)整備											
3.4.10号線(北)整備	経済動向を勘案し着手時期を決定します。										
国立駅北口駅前広場整備											
国立駅南口駅前広場整備											

（問合せ）道路交通課 整備係 ☎042-576-2111 内線351・352

事業	年 度									
	平成29	平成30	令和元	令和2	令和3	令和4	令和5	令和6	令和7	令和8
	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026
(仮称)旧国立駅舎東西広場整備	JR東日本との用地交換後に事業予定を決定します。									
旧国立駅舎再築										
国立駅前にたち・こくぶんじ市民プラザ										
国立駅南第1自転車駐車場整備										
南口複合公共施設	JR東日本との用地交換後、子育て支援施設整備の事業予定を決定します。									

（問合せ）国立駅周辺整備課 国立駅周辺整備担当 ☎042-576-2111 内線382

表紙写真

右列上段：大正 15(1926)年頃・国立駅前の様子（くにたち郷土文化館所蔵）

右列中段：昭和 39(1964)年頃・国立駅前の様子（くにたち郷土文化館所蔵）

左列上段：平成 15(2003)年頃・国立駅前の様子

右列下段：平成 29(2017)年・国立駅前の様子

左列下段：令和 3(2021)年 3 月・国立駅前の様子